

# 豊寿園

FRUIT FULL TREE

# 豊かな樹



Summer 2015

Vol. 27

JAPANESE RED CROSS  
SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER  
THE SPECIAL NURSING  
HOME  
HOJJYUEN

TOPICS HOJJYUEN×FAMILY CARE MEMO  
AREA INFORMATION MORE CROSS

HOJJYUEN'S ALBUM

# トピックス

T O P I C S

## 利用料金が変わります！

平成27年4月に、介護保険が改定されました。それにともない、利用者の皆さんにお支払いいただく利用料金も変更となります。主な変更点は以下のとおりです。詳細については、お配りしております利用料金表でご確認ください。ご不明な点は、生活相談係までお問合せください。

### ○一定以上所得がある人の利用者負担が見直されます

平成27年8月から、一定以上所得がある65歳以上の方は、サービス利用時の利用者負担が1割から2割になります。ご自分の負担割合については、7月末ごろにお手元に届けられる「介護保険負担割合証」でご確認ください。

### ○負担限度額認定の適用要件に「資産要件等」が加わります

特養・ショートステイ利用時の食費・居住費補助を受けることができる負担限度額認定の適用要件が変更されました。  
 〈所得要件〉市民税世帯非課税、別世帯に配偶者がいる場合で別世帯の配偶者も市民税非課税  
 〈資産要件〉預貯金等が一定額以下(単身で1,000万円以下、夫婦で2,000万円以下)

### ○多床室の基準費用額が変更されます

多床室(豊寿園の2人部屋・4人部屋のこと)をご利用いただいた際の居住費は昨年度までは320円でしたが、平成27年4月から370円に、8月から840円に変更されます。

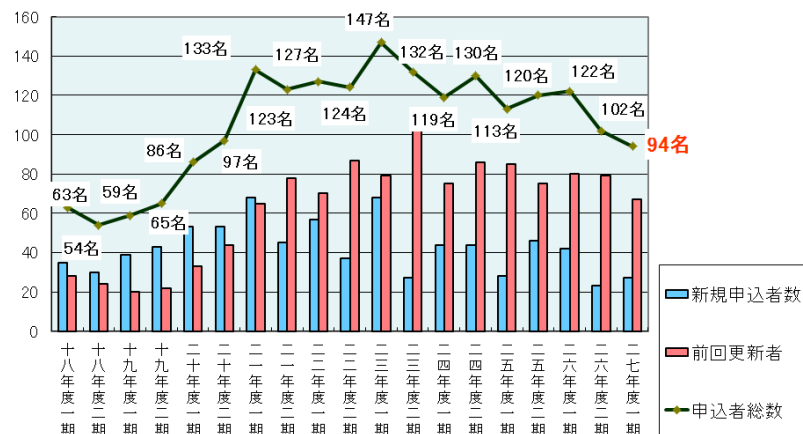
※負担限度額認定証をお持ちの方は、8月以降も限度額が370円になります。

## 家族会総会が行われました！

6月6日、豊寿園家族会の平成27年度総会が開催されました。

当日は、平成26年度の決算や今年度の活動内容、役員への補充などが審議されました。

今年度は、「看取り介護」に関する勉強会を行うこと、「ご長寿のお祝い」では、口腔ケアにかかわる物品を記念品として贈ることなどが決定しました。



## 入所待機者が決定しました！

6月からの豊寿園の待機者が決定しました。

今回は94名の方にお申し込みをいただきました。

94名の方々には、6月から11月までの間、定員に空きが出るのをお待ちいただくこととなります。

待機順位の進捗は、豊寿園のホームページでも随時ご案内しています。

5月16日  
 じゅんの会の皆さんと門  
 司港レトロでゴミ拾い



5月23日  
 チャチャタウン小倉で赤  
 十字フェスティバル開催。  
 赤十字活動をPRしまし  
 した。

### 5月は赤十字運動月間

皆さんに少しでも赤十字を知ってほしい。  
 福岡管内の赤十字施設や赤十字奉仕団や、青少年赤十字加盟校  
 の皆さんと一緒に活動しました。



5月24日  
 今年も門司みなと祭りの  
 祝賀パレードに門司  
 赤十字奉仕団と青少  
 年赤十字加盟校の皆  
 さんと一緒に参加しま  
 した。今年は、  
 早柄中学校の皆さんも  
 参加してくれました。

5月・7月  
 新門司保育所交流  
 園児の皆さんが一生  
 懸命披露してくれた  
 踊りや影絵、鯉のぼり  
 のプレゼントをともし  
 んでました。



# あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family



今回インタビューに応じてくださった吉田様 毎週面会に来られては、奥様との時間を過ごされています。このたび、豊寿園家族会幹事に就任されました。

今回、奥水介護課長のインタビューを受けてくださったのは、吉田様です。ご自宅での介護ののち、現在は奥様が豊寿園にご入所されています。そんな、吉田様に在宅での介護についてお聞きしました。

—その時は生活もできていたし、認知症だとは思っていませんでした—

私が定年退職したころ、私の母に認知症の症状が始め、介護が必要となりました。介護の期間は長くなかったのですが肺炎で入院した時には、妻は私と一緒に24時間体制で付き添ってくれました。

妻が64歳の時、まだ半袖を着ている秋の夕方に車で一緒に出かけました。妻が実家に顔を出すと言うので実家に立ち寄り、私は車で待つていたんですが、なかなか戻ってこないと思ったら行方が分からなくなっていて慌てて交番に駆け込みました。結局、本人はしばらくしてバスに乗って家に戻ってきましたがお金も持たず、バスに乗ったようです。警察からは、認知症では？と言われましたが、その時は生活もできていたし、認知症だとは思っていませんでした。

『お父さん、頭が真っ白になって、何も考えられんから料理もできん。悪いけどこれからはお父さんが食事も作って』

その頃妻は、リウマチを患い、痛みから布団の中で泣いたり、沈みこむことが多くなっていました。主治医に相談すると精神科の受診を勧められました。本人は『私はそんな病気じゃない』と、受診することに抵抗していましたが、MRIを撮って脳の委縮が見られたことからアルツハイマー型認知症と診断されました。

ある日妻が、『お父さん、頭が真っ白になって、何も考えられんから料理もできん。悪いけどこれからはお父さんが食事も作って』と通帳と印鑑を渡してきました。その1年前からできないことが増えていきましたので覚悟はしていましたので、『うん、わかっただ』と言えました。あの頃は、本人なりに病氣と闘って頑張っていたと思います。

—GPSはどこを歩いているまで分かるので助かりました。でも持つて出てないこともあって、その時は困りました。—

家を出て行方が分からなくなることが増えていきました。警察に捜索をお願いしたのも、4、5回はあります。

市の方に相談しGPSを紹介され、妻に持たせるようにしました。大体コースは決まっていたのですが、それが何ヶ所もあるのどこを歩いているかまで分かるのはとても助かりました。でもGPSを持つて出てないこともあって、その時は困りました。私が体調をこわし入院となった時、妻を一人にはできず先生に頼んで一緒に入院をさせました。



でも病院も抜け出し、4時間捜索したこともありました。

—ホッとしました。「散歩に行つた？」と声をかけていました。—

夜、私が片付けを済ませて、少し気を抜いた時にいなくなつたこともありました。夜の道を2時間探している時は、気が気ではありませんでした。ようやく発見されて本人の顔を見た時は、怒りも消えてホッとしました。「散歩に行つた？」と声をかけていました。

当時は妻が夜一人で出ていかないように、本人はベッドで寝かせて、私は横に布団を敷いて寝ていました。今になれば、笑い話になるんですが、隣で寝ている私のそばを、妻が抜き足差し足でこっそり出ていこうとするんですよ(笑)。



『変な人ではなく、病気を持っている人』  
であると理解してもらえました

最初は、認知症であることを周囲には言えずにいました。お寺の婦人会の当番も私と一緒にするようにしていました。

でも本当に大変になってきて、近所の人に協力をお願いした時は、自分自身の気持ちが悪くなりました。当時は今のようには、認知症という病気が認知されていない頃でしたが、近所の人に伝えたことで『変な人ではなく病気を持っている人』であると理解してもらえたんだと思います。「さっき家の前を通ったよ」と教えてくれたり、交番に送り届けてくれた人もいました。温かく見守ってもらえたと思います。

—それまでは、手探りで何をどうしたらいいのか全く分からない状況でした—

専門医からは介護保険の利用を勧められました。申請方法やケアマネジャーを紹介され、デイサービスに行くようになりました。それまでは、手探りで何をどうしたらいいのか全く分からない状況でした。週1〜2回からデイサービスを始め、ショートステイも月1回から徐々に増やしていきました。ショートステイに1週間泊まれるようになるまで、徐々に環境に慣れていってもらい、1年半位経ったころ、豊寿園に入所できました。

当時は常に気を張っていました。その頃の私は、体重も落ち、表情もきつくなっていました。認知症の介護は大変です。でも早く専門医に相談し、デイサービスなどを利用することが本人の為になると思います。

—『じゃ、行ってくるね』と伝えるようにしています。—

豊寿園に入所した後も徘徊が続きました。その後転倒して骨折し、介助で歩けるまで頑張りましたが、足の浮腫などから結局、車椅子生活になりました。入所して3年経った昨年、体調を崩して長期の入院生活になりました。食事が口から摂れなくなり、病院で嚥下訓練をしてもらいました。そして、数か月ぶりに豊寿園に戻って来ることができました。

一時はもう無理かと、葬儀屋の予約もしました。今は喜怒哀楽を表現でき、言いたいことはうまく言葉にできないけれど、食事介助が終わり帰るころには何か感じているようで表情が変わります。その時は、『じゃ、行ってくるね』と伝えるようにしています。家にいる感じがするんじゃないかと思っています。

私が定年になったとき、妻と日本一周を旅行しようと計画していました。残すは四国だけ。それが心残りです。



右 吉田様の在宅時代のお写真 お二人の仲の良さが伝わります

# 介 護 一 口 メ モ

## C A R E M E M O

今回は夏場を乗り切るための水分摂取についてご紹介します。

今回のテーマは「水分」です。  
これからの季節、水分摂取は老若男女問わず重要になります。効率よく水分摂取をして、暑い夏を乗り切りましょう。

まず、人間と水分の関係について

○体内の水分量は？

体重に対して成人男性は約60%、成人女性は約55%、胎児は90%、乳児は約80%

小児は約70%で性別や年齢によって異なります。

ちなみに、70kgの成人男性ですと、40ℓほどが体内水分量となります。

○一日に出ていく水分量は？

成人で約2～2.5ℓ/日、排出されます。

内訳は、尿として1～1.5ℓ、汗として約0.5ℓ、呼吸で約0.3ℓとなっています。

○一日に必要な水分量

人間が必要とする1日当たりの水分量は、

「体重×1kg当たりの必要水分量 (ml)」です。

必要水分量は、幼児約100～120ml、成人約50mlと

なっています。70kgの成人ですと、  
70kg×50ml=3.5ℓ程となります。



目的によって飲料のタイプを飲み分けましょう

	日常	運動時	ダイエット	留意点
水	◎	△	○	カロリーがないため水分補給には万能だが、塩分が入っていないので運動時にあまり向かない。
お茶	△	×	△	カフェインの利尿作用があるので、飲み過ぎはNG。水と同じ理由で運動時には適さない。
アルコール	×	×	×	利尿作用が高く水分補給にならない。脱水を防ぐためにアルコールを摂取する際は一緒に他の飲料水を補給する
スポーツ飲料	△	◎	△	塩分を補給できるので、運動時は向いている。通常時に飲むにはカロリー過多。
ジュース	×	×	×	基本的にはジュースや甘い炭酸飲料はカロリーが高すぎるし、水分補給には向かない。

※情報提供 クオーレ整骨院（北九州市小倉南区中曽根東2丁目10-5）

## 地域ぶらり情報



### 木は生きている

都市高速大里ICより199号線に出て、門司港方面に向かい、一つ目の信号を右に曲がると、すぐに色とりどりのひと際目につく外壁があります。1年前openした木の食器を製作しているお店です。

店内には、コップやお椀、お皿、和の小物がおける台など色々ありますが、一番気になっているのは、スプーンでもすくい易いように縁がカーブしている介護用器。木製なので温かいぬくもりを感じられます。木の器は、使用していくと白くなっていきますが、磨けばまた新しく再生できるので、永く使用ができるそうです。コップを主に製作していますが、注文も受けてくれます。「庭の樹を切った時に、何か思い出を残すために記念品を作るなどやってみたいですね。樹の乾燥が必要ですから3年ぐらいは掛かりますが(笑)」と話されました。

自分だけの器を見つけてみては、いかがですか。

### ・木の器工房リウ

食器、木工小物製造、販売

北九州市門司区大里本町2-5-17

TEL 080-3226-4992

営業日 金・土・日・月

11:00~15:00

## お知らせ

本号発行日時時点で、2階の空調設備に一部不具合が生じており、代替機器にて対応しています。

そのため、8月8日に予定していましたが、毎年恒例の園内での「夏祭り」を中止させていただきます。

代わりに、10月24日に「秋祭り」を計画しております。詳細については後日改めてご案内いたします。

## あとかき

我が家には小学2年生になる娘がいます。

最近、小学2年生ぐらまでの算数が、これからの勉強の基礎になると聞き、毎朝早起きをして算数ドリルを一緒に取り組むのが日課になっています(週の半分は起きられない父親をそっとしておいてくれていますが・・・)。

基礎が大切なのは、私たち介護の仕事も同じ。今更ながら、介護のテキストを読み返し基本を反復しなければと思う今日この頃です。

さて、今回の「豊かな樹」では、いつものコーナーに加えて、職員2名の意外な特技をご紹介します。業務中とは違う職員の一面をお楽しみいただければ幸いです。



今回表紙を飾ってくれたのは、1階特養棟の原田ゆかりさんです。大学卒業後入職した3年目の介護職員です。門司の灯台まで出かけて元気に写真撮影に参加してくれました。

## 今回のCOVER GIRL

平成27年度広報委員 森英樹

### 4月 お花見

園にもたくさんのお花が咲きました。  
みんなで弁当を食べお花見会を楽しみました。



### 5月 みんなでクッキング

チョコレートフォンデュを  
作りました。チョコレートの淹に  
みんなビックリ!!



## 豊寿園 アルバム

### 6月 開園記念行事

今年も家族の皆さんに参加  
していただき、デザートビッフェ  
や模様しものを楽しみました。



### 6月 バスハイク

門司港レトロに、家族と一緒に  
バスハイクに行きました。素晴  
らしい天候と満開のバラに自  
然と笑顔がこぼれました。



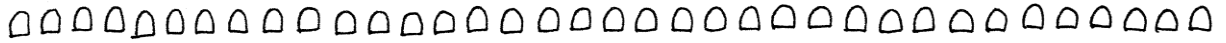


# MY SPECIAL SKILL

今回は豊寿園の職員の意外な特技を特集しました



豊寿園ではたくさんの職員が勤務していますが、中には意外な特技や趣味を持っている職員もいます。今回は2名の職員の意外な特技をご紹介します。



## AFTER

## BEFORE



1 階介護職員 辻村 希沙さん

平成24年 豊寿園に入職

実はベリーダンスが得意です。

始めたきっかけは、友達が先に始めていて、「教室に見に来て」と言われて見学にいったらそのまま断れずに入会してしまいました(笑)。

大会などには出たことはありませんが、洋楽や日本の曲とは違う音楽が好きなのと、普段しないような動きをしたり、綺麗な色の衣装を着ることが楽しいです。

また、行事等で披露できたら嬉しいです。



平成25年の開園記念行事で踊る辻村さん

## OFF

## ON



2 階介護職員 田中 美月さん

平成25年 豊寿園に入職

実はイラストが得意です。

始めたきっかけは、中学校の美術部に入ってからです。周りの人がすごく上手だったので、私も描けるようになりたいと思って練習を始めました。

今はパソコンのソフトを使って描いています。自分の想像したものが思うように描けた時がとっても楽しいです。

以前、利用者様の似顔絵を描いてご本人に見ていただいたら、とても喜んでくださったので、何かレクリエーションなどに活かしたいです。



田中さんの書いた作品



Summer 2015

Vol.27

TOPICS

HOWYUEN X FAMILY

CARE MEMO

HOWYUEN 'S ALBUM

AREA INFORMATION

EDITORIAL NOTE

MORE CROSS

# FRUITFULL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA  
PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOWYUEN